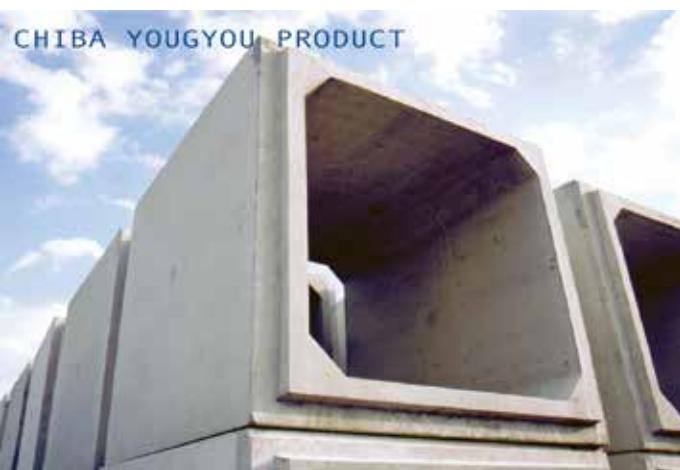


抗菌コンクリート製品



さらなる進化を遂げたコンクリート

<抗菌コンクリート>

抗菌剤による腐食対策がすべての製品に応用可能

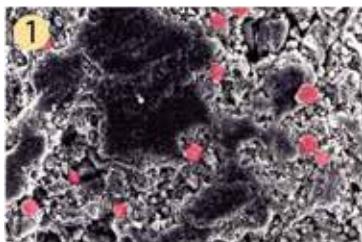
5

組立マンホール

腐食のメカニズム

下水中の有機物により気中に硫化水素が生成。
↓
管に付着している水滴に硫化水素が溶解し硫黄
酸化細菌（チオバチルス菌）により硫酸を生成。
↓
硫酸によりコンクリートが腐食。

チオバチルス菌をなくせば
腐食は起こらない



抗菌コンクリート
SERIES



1.電子顕微鏡による抗菌剤分散状況。ピンクの点が抗菌剤
2,3.マンホール類(角型,丸型) 4.暗渠類(ヒューム管,ボック)
5.技術審査証明

優れた抗菌性で防食と衛生管理を実現

当社抗菌コンクリートは銀・銅イオン（無機）を主成分としており、チオバチルス菌に最も効果的でかつ、大腸菌・黄色ブドウ糖菌・セレウス菌など人体に有害な細菌にも有効。

十分な安全性を確保

銀製分の溶出は一般市販銀製品と同様、検出できない程度。銀は食品添加物・酒・医薬品に使われ、安全性は認知されている。銀成分の溶出は、 0.01mg/l （排水許容基準： 3.0mg/l ）と低い。

優れた分散性で効果長もち

抗菌剤が無機系抗菌剤で長期的安定（有機系は速効性で短期的）
抗菌剤の比重が2.1とコンクリートに近く、分散性が良い。（他社類似品は9割程度）